

松本市地域づくり推進交付金実績報告書

令和8年3月31日

(あて先)松本市長

(申請者) 笹賀地区福祉の地域づくり協議会

1 交付決定額	I	金 700,000 円
---------	---	-------------

2 本年度実績の報告

(1) 本年度の交付金事業の報告

① 事業名： 笹賀地区福祉の地域づくり事業(福祉ひろばの利用促進、高齢者の活動促進)				
実 施 主 体	笹賀地区福祉の地域づくり協議会・笹賀地区福祉ひろば事業推進協議会			
実施日(期間)	令和7年4月1日から令和8年3月31日			
実 施 場 所	笹賀地区			
事 業 概 要	多くの住民に福祉ひろばを利用していただくため、高齢者を対象とした事業の参加者のうち、運転免許証のない方や返納された方を対象にタクシーによる無料送迎サービスを実施した。 このほか、例年中村雅彦氏(シンガーソングライター)による「歌声ひろば“ささが”」を開催しているが、今年度も地区内の福祉施設入所者をお招きし、交流を図った。			
地 域 づ くり の 成 果 ・ 効 果	運転免許証を返納された方や、運転に不安を抱える方の利用が増えてきた。また、「歌声ひろば“ささが”」事業における福祉施設入所者との交流は、地域とつながりを持つことで、入所者の生きる活力をあたえるとともに、地域住民の「介護」に関する理解を深めることになる。			
課 題	もっと身近に「福祉ひろば」を感じていただくため、福祉ひろば周辺にお住いの方だけでなく、地区内全域から利用していただけるよう、周知徹底する必要がある。			
決 算 額	a+b+c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	253,600円	250,000円	円	3,600円

a： 本年度の交付金額のうち、この事業に充当した額

b： 前年度の交付金の繰越額のうち、この事業に充当した額

c： この事業に充当したその他の財源の額

② 事業名： 笹賀地区福祉の地域づくり事業(子ども・子育て世帯支援)				
実 施 主 体	笹賀地区福祉の地域づくり協議会			
実施日(期間)	令和7年4月1日から令和8年3月31日			
実 施 場 所	笹賀公民館・笹賀地区福祉ひろば			
事 業 概 要	夏休み特別企画として、8月に「ハロー！カンクロー&人形劇 さんまいのおふだ(肩掛け人形芝居)」を、また3月に「おはなし♪オルガン」を開催し、異世代交流を進めた。また、地域の団体が自主的に行っている子育て事業に対して支援を行った。			

地 域 づ くり の 成 果 ・ 効 果	これからの時代を担う子ども向けの事業を強化したことにより、「地域で育てる」意識の高揚とともに「地域愛着心」を育み、地区・町会活動や防災など地域活動の活性化につながる。			
課 題	一部の子育て世帯だけでなく、より多くの方に情報提供し、継続的に足を運んでもらえる事業の企画・立案が必要である。			
決 算 額	a+b+c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	237,840円	230,000円	円	7,840円

③ 事業名： 笹賀地区福祉の地域づくり事業（認知症サポーター養成）				
実 施 主 体	笹賀地区福祉の地域づくり協議会			
実施日（期間）	令和7年4月1日から令和8年3月31日			
実 施 場 所	笹賀公民館・笹賀地区福祉ひろば			
事 業 概 要	認知症になっても安心して笑顔で暮らせる地区を目指すため、松本市社会福祉協議会の協力のもと、認知症を学び、認知症本人及び家族を見守る地域の応援者（認知症サポーター）の養成講座を開催した。			
地 域 づ くり の 成 果 ・ 効 果	認知症についての理解を深めるとともに、自発的に地区や町会での地域福祉活動（オレンジカフェなど）へ参加する人材を増やす。 また、色々な人と関わることで、交流や仲間づくりなど、新しい人間関係を築くことにも期待できる。			
課 題	地区内において、認知症に対する理解が不足していることから、定期的に認知症サポーター（ボランティアを含む）を養成する講座を開催する必要がある。			
決 算 額	a+b+c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	229,856円	220,000円	円	9,856円

決 算 額（ 計 ） （①+②+③）	A+B+C	財 源 内 訳		
		A	B	C
	721,296円	700,000円	円	21,296円

A：各事業のaの合計額
B：各事業のbの合計額
C：各事業のcの合計額

(2) 本年度の積立実績の報告

該当なし

(3) 本年度の交付金のうち、翌年度に繰り越す金額の報告

I-A-D	金	0円
-------	---	----

[参考]繰越上限額=I×2／10